

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程 (実 技)	科目名 総合エステティック (実務経験教員等による授業)	総時間 260	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シバラスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	田坪 由香里	・エステティックサロン実務(20年)、講師(2年)	CIDESCO(シデスコ)国際資格	
非常勤	南野 陽子	・エステティックサロン実務(20年)	CIDESCO(シデスコ)国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● 国際試験基準による教材の化粧品についての取扱い技術を実践的に学ぶ ● 総合的なトリートメント技術を実践的に学ぶ ● 実践的サロン研修においてのトリートメントプランの作成について実践的に学ぶ				
※ 総合的なトリートメントプランが作成が作成できる実践力を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいたトリートメントプランの実践と口頭試問により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程 (実 技)	科目名 応用メイクアップ (実務経験教員等による授業)	総時間 72	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シラバスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	南野 陽子	・エステティックサロン実務(20年)	CIDESCO(シデスコ)国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● 場面に応じたメイク技術を実践的に学ぶ				
● 顔・肌分析を含めたカウンセリングメイク技術を実践的に学ぶ				
● 特殊メイク(アニマル・舞台メイク)などの特殊技術を実践的に学ぶ				
※ カウンセリングメイクが場面に応じて行なえる技術を実践的に習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいたカウンセリングメイクの実践と口頭試問により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程 (実 技)	科目名 ネイルテクニック (実務経験教員等による授業)	総時間 54	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 規定教科書: 日本ネイリスト協会規定教科書「テクニカル・ベーシック」 ・ CIDESCO(シデスコ)シラバスによるテキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・ CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
外部	中原 立恵	・ ネイルサロン経営 (17年)	日本ネイリスト協会認定本部講師	
外部	戸川 覚子	・ ネイルサロン経営 (16年)	日本ネイリスト協会認定登録講師	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● エステトリートメントに含まれるネイル・フットケアを実践的に学ぶ ● 爪・肌の疾患と感染対策を実践的に学ぶ ● カウンセリングケアが行なえる技術・知識を実践的に学ぶ				
※ ネイル・フットの総合ケアが場面に応じて行なえる技術を実践的に習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいたネイル・フットケアの実践と口頭試問により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程・選択 （ 実 技 ）	科目名 フィットセラピー （実務経験教員等による授業）	総時間 10	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 規定教科書：日本アロマ環境協会教科書 ・ 規定専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験（年数）	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務（42年）	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
外部	中原 立恵	・ネイルサロン経営（17年）	日本ネイリスト協会認定本部講師	
外部	戸川 覚子	・ネイルサロン経営（16年）	日本ネイリスト協会認定登録講師	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● アロマセラピーとして精油と種類・特徴・働きとその活用法を実践的に学ぶ ● フィットセラピー（植物療法）としてハーブティ種類とその活用法を実践的に学ぶ ● フィットセラピー（精油を含む）を活用したトリートメント種類とその活用法を実践的に学ぶ				
※ フィットセラピー（精油を含む）活用法を実践的に習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 授業内での技術力と口答試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程・選択 (実 技)	科目名 ハイドロセラピー (実務経験教員等による授業)	総時間 10	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シラバスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● タラソセラピーの活用法を実践的に学ぶ ● サロンで行なわれる(世界含む)施術の技術について学ぶ				
※ サロンにおけるタラソセラピーの技術を実践的に習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 授業内での技術力と口答試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程・選択 (実 技)	科目名 リフレクソロジー (実務経験教員等による授業)	総時間 10	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シバラスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● リフレクソロジー(反射区)の活用法を実践的に学ぶ ● サロンで行なわれる(世界含む)施術の技術について学ぶ				
※ サロンにおけるリフレクソロジーの技術を実践的に習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 授業内での技術力と口答試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程・選択 (実 技)	科目名 追加課題実習 (実務経験教員等による授業)	総時間 64	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シラバスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ その他				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● CIDESCO国際試験に基づいた「症例研究レポート」を作成 ● 研究レポートを作成し卒業時に研究発表を行なう(「症例研究レポート」の発表とする事もあり)				
※ CIDESCO国際試験に基づいた「症例研究レポート」を作成提出および「研究レポート」提出と発表				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 症例研究および研究レポートと口答試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程・選択 (実 技)	科目名 東洋医学	総時間 12	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シバラスによるテキスト ・ アーユルヴェーダー協会教科書				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● アーユルヴェーダー施術を取入れたトリートメント技術を実践的に学ぶ				
※ サロンにおけるアーユルヴェーダトリートメントの技術を実践的に習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 授業内での技術力と口答試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術課程・選択 (実 習)	科目名 サロン実習 (実務経験教員等による授業)	総時間 80	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 学校協力会社による「サロン実習研修」 ・ 学校「学生サロン」にて研修				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	南野 陽子	・エステティックサロン実務(20年)	協会認定試験官	
非常勤	田坪 由香里	・エステティックサロン実務(20年)	CIDESCO国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● 研修サロン(エステ・ネイルなど)における業務を実践的に学ぶ ● 研修学生サロン(エステ・ネイルなど)において各施術を実践的に学ぶ ● 校内イベントによるサロン実践業務を技術的に学ぶ				
※ 各サロンでの業務を実践的な技術・接客力を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 各研修サロンにおいての研修内容とその取組み内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				